



志・和・創

厚東川中だより第2号
宇部市立厚東川中学校
令和6年5月22日発

日本一「がんばり」と「やさしさ」あふれる 厚東川中学校に向けて

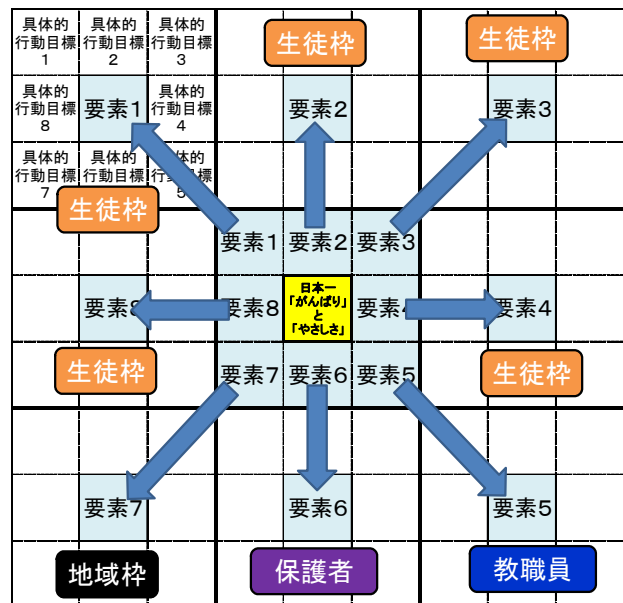
校長 岡村 一利

4月、慌ただしい中にも全校生徒52名でスタートした1学期ですが、早いものでもう中間地点を過ぎようとしています。生徒たちは日々の授業だけではなく、修学旅行や社会見学といった校外での学び、学校行事や部活動の活動と様々な「学び」に一生懸命に取り組み、「がんばり」と「やさしさ」を発揮してくれています。

さて、5月7日(火)に実施した生徒集会にて、厚東川中学校が大切にしている「がんばり」と「やさしさ」とともに、令和6年度は厚東川中学校を『日本一「がんばり」と「やさしさ」あふれる学校』とすることを目標とすることを確認しました。

また、そのための手立となる「目標達成シート」について生徒とともに確認をしました。目標達成シートは様々な場面で使われてきたものですが、現在メジャーリーグのロサンゼルス・ドジャースに所属し大活躍をしている大谷翔平選手が活用していたことでも有名となりました。目標達成シートはその中心に目標を設定し、その周囲が目標を達成するための8つの要素・視点。更にその要素・視点を中心として8つの具体的な行動目標が配置されます。大谷翔平選手は17歳の時にこの目標達成シートを活用し目標には「ドラフト会議で8球団から1位指名を獲得する」との目標を立て、そのために必要な要素を体づくりやコントロール、キレ、球速160km/h、変化球、運、人間性、メンタルと挙げました。この8つの要素・視点を元にして、具体的な行動を記載しています。特に、運ではゴミ拾いや審判さんへの態度、応援される人間になる、あいさつ等を掲げ、人間性では感性や思いやり、礼儀や感謝、継続力等を掲げており、まさに現在の大谷選手の姿がこのシートからスタートしていると思いますし、17歳の高校生がこうした目標を掲げ、それを達成していく課程を目にできることは我々にとっても大きな学びとなると思います。前述したように、厚東川中学校は『日本一「がんばり」と「やさしさ」あふれる学校』をめざしていきます。全校生徒52名の小規模校ですが、できないことはありません。しかし、そのため

にはしっかりとした目標とそれを達成するための要素・視点、具体的な行動目標が必要となってきます。それを目標シートを使って「見える化」していきます。生徒集会ではこのことを生徒に告げました。もちろん厚東川中学校は地域の学校であり、生徒・教職員だけで成り立っているものではありません。今後、教職員・保護者・地域の方々にもこのシートの作成にご参加いただきたいと思います。どのような形になるかは未定ですが、厚東川中学校が日本一「がんばり」と「やさしさ」あふれる学校との目標を達成できるように、皆様方からのお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。



令和6年度厚東川中学校の確かな学びに向けて！

4月18日(木)、3年生は全国学力学習状況調査、1・2年生は山口県学力到達度確認問題に臨みました。5月の教職員研修会では、その結果分析を元に今後の授業改善等学力向上に向けた取組について協議しました。結果は教職員が自校採点したもので、最終的な結果ではありませんが、生徒の学力傾向を少しでも早くつかむとともに、それに応じた対策を取るために、教職員による自校採点と結果分析を行いました。その結果、まず本校生徒の傾向として次のような傾向が見られました。

- (1) 基礎的・基本的な内容については、概ね身に付いている生徒が多い。ただ、問題によっては正答率が比較的低いものがある。
- (2) 問題の意図を読み取り、文章からそのポイントを掴んだり抜き出したりすることに、難しさを感じている生徒が多い。
- (3) 題意に応じて、文章内の言葉を使い論理的な文章を書く事ができない生徒が多い。

上記の課題に対して、教職員と授業改善も含めた学力向上について、次のような事を共有しました。

- (1) 授業開始前の準備や授業中の学びに向かう態度等（授業規律）をしっかりと整える。また、授業で学習する内容の内、基礎的・基本的内容については定着の徹底を図る。取りこぼしすることのないように、また、その定着については家庭とも連携をし、自学ノートの活用などを進める。
- (2) ポイントを掴むことについては、本校では朝の読書活動を進めているが、読書習慣を身に付ける。また、新聞を活用したNIE教育をその一環として活用していく。
- (3) ふりかえり活動の推進。題意に応じて、文章内の言葉を使い論理的な文章を書くことについて、授業終盤でのふりかえり活動を推進する。学習内容とともに自身の考えについて論理的な文章でまとめられるようにしていく。

学力向上は、生徒が21世紀を生き抜くために大変重要なことであり、特に、将来の変化を予測すること自体が難しいと言われる時代を生き抜くためには、正解のない問いに対して、あふれる情報の中から正確な情報を収集し、友達と議論し、自らの考えを「納得解」として発信する力の育成が強く求められています。厚東川中学校ではそのことを深く自覚し、こどもたちのために「確かな学びづくり」に努めて参ります。

令和6年度6月主な行事予定！

6月3日(月)	安全点検、生徒集会 教育実習開始(~14日)	6月12日(水)	ノ一部活動デー
4日(火)	太鼓活動(厚T)	14日(金)	太鼓活動(厚T)
6日(木)	習熟度テスト(3年)	18日(火)	テスト範囲発表・ 太鼓活動(厚T)
8日(土)	選手権大会予選(1日目)	19日(水)	小中合同引渡訓練 ノ一部活動デー
9日(日)	選手権大会予選(2日目・卓球)	20日(木)	生徒総会
10日(月)	集金日、太鼓活動(厚T)	21日(金)	テスト週間開始
11日(火)	太鼓活動(厚T)	28日(金)	期末テスト(1日目)
12日(水)	第1回小中合同研修会		